

施策番号	1604		
施策名	介護サービスの充実による豊かな生活の実現		
概要	だれもが住み慣れた地域でより満足度の高いサービスを受けられ、そのひとらしい豊かな生活を実現していくために、居宅サービスの充実や、介護施設の整備を進める。		
担当局・部室	保健福祉局・健康長寿のまち・京都推進室	共管局・部室	
上位政策	16 高齢者福祉		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市民長寿すこやかプラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	地域密着型サービス事業所整備定員数（人分）	a	a	2,274	2,334	2,373	98.4%	a	1.00
2	特別養護老人ホームの入所施設整備定員数（人分）	a	a	6,151	6,311	6,532	96.6%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		a	a					a	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	
1	介護サービスや住環境整備などが充実し、高齢者が住み慣れた地域でそのひとらしいくらしを送れている。	c	c	53 8.1%	215 32.8%	228 34.8%	105 16.0%	55 8.4%	656	-
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		c	c							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	B	令和元	B	令和2	B	施策の目的がかなり達成されている
重み付け	☒ 客観指標	この施策は、対象となる市民が介護を必要とする高齢者やその家族に限定されているため、効果が市民全体の生活実感に反映されにくいことから、客観指標総合評価を重視する。				
	☐ 市民の実感					

<原因分析>

客観指標総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。
・サービスや施設について、利用者以外には認知が十分に広がっていないことから、c評価で推移している。

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1	地域包括支援センターの事例検討会に対するリハビリ専門職派遣事業	1,364	6,076	悪い	保健福祉局
2	介護サービス事業者等連絡会開催支援事業	0	4,864	－	保健福祉局
3	介護の担い手確保対策事業	0	7,671	－	保健福祉局
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・介護を受けながら住み慣れた地域で生活し続けることができるよう、地域密着型サービスの充実などの基盤整備に取り組むとともに、サービスの周知を図る。

施策名	1604	介護サービスの充実による豊かな生活の実現					
指標名	地域密着型サービス事業所整備定員数（人分）						
担当課	介護ケア推進課		連絡先	2 1 3－5 8 7 1			
1 指標の説明							
認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）の整備定員数							
2 指標の意味							
地域密着型サービスの基盤整備の状況を示す指標				3 算出方法・出典等			
				算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ			
4 数値							
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度	
数値	2,274	2,334	60人分増	2,373	令和2年度に目標値を達成するために当該年度に達成すべき数値（平成30年度2,310人分、令和元年度2,373人分、令和2年度2,445人分）	98.4%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値	-	2,445	令和2年度	95.5%			第7期京都市民長寿すこやかプラン
5 評価基準							
最新数値が、目標値に対して、 a：90%以上 b：80%以上～90%未満 c：70%以上～80%未満 d：60%以上～70%未満 e：60%未満			6 基準説明		7 評価結果		
			当該指標については、民間事業者による基盤整備が不可欠であるため、90%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。		平成30	令和元	
					a	a	
					a	a	
指標名							
特別養護老人ホームの入所施設整備定員数（人分）							
担当課	介護ケア推進課		連絡先	2 1 3－5 8 7 1			
1 指標の説明							
特別養護老人ホームの整備定員数							
2 指標の意味							
特別養護老人ホームの整備状況を示す指標				3 算出方法・出典等			
				算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ			
4 数値							
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度	
数値	6,151	6,311	160人分増	6,532	令和2年度に目標値を達成するために当該年度に達成すべき数値（平成30年度6,296人分、令和元年度6,532人分、令和2年度6,717人分）	96.6%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値	-	6,717	令和2年度	94.0%			第7期京都市民長寿すこやかプラン
5 評価基準							
最新数値が、目標値に対して、 a：90%以上 b：80%以上～90%未満 c：70%以上～80%未満 d：60%以上～70%未満 e：60%未満			6 基準説明		7 評価結果		
			当該指標については、民間事業者による基盤整備が不可欠であるため、90%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。		平成30	令和元	
					a	a	
					a	a	